

## 第10章 愛知県総合教育センター

### 第1節 事業方針

#### 1 教育研究調査

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会との連携のもとに、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。また、当センターにおける教育研究調査事業の位置付けを明確にして、実態調査・課題把握、研究実践、成果の還元という見通しをもって研究を進める。

#### 2 教育関係職員研修

教育関係職員としての自覚を深め、教育の理念に基づき、意識改革及び資質能力の向上を図るとともに、教育指導に関する基礎的、専門的知識・技能の充実や指導力の向上を目指して、教育実践の場に直結した研修を実施する。

#### 3 教育相談

教育活動の充実・改善のために、一般教育相談・特別支援教育相談・教育関係職員相談を行う。また、各学校及び地域が行う教育相談活動の向上を図るため、教育相談担当者の支援を行う。

#### 4 教育情報収集・提供

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・処理・提供及び教育情報通信ネットワーク等の管理・運営を行う。また、コンテンツの作成・充実を図りその他図書資料の貸出し等を行う。

#### 5 生徒実習

##### 農業教育（農業教育共同実習所）

県内の高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を習得させ、実践力を高めるため、宿泊による集中的・効率的な農業機械実習を行う。また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

### 第2節 事業概要

#### 1 教育研究調査事業

教育研究調査の事業方針に基づき、重点を次の三点とする。

- (1) 学校の教育課題及び教育行政上の今日的な課題を探り、それに応える。
- (2) 研究と研修との連携を一層図り、研究成果を研修講座の充実・改善に生かす。
- (3) 研究成果の発信と学校現場への普及・活用を図る。（研究発表会、研究紀要（ウェブ、別冊）、ウェブページ、研修講座等）

平成 24 年度において行った研究・調査は、次のとおりである。

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程及び学校の諸課題	1	教師を育てる教師の育成と研修の在り方に関する研究	センター・大学共同研究委員会での「教師教育学」に関する協議に基づき、今日的教育課題となっている教師を育てる教師(研究主任、研修主任、教務主任等)の力量向上のための研修の在り方について、研修プログラムの開発や具体的な指導内容・方法を研究する。	共同研究 (大学連携)
	2	生きる力を育むESD実践カリキュラムの開発に関する研究	新学習指導要領で「持続可能な社会構築」の重要性がいろいろな教科で言及されていることを踏まえ、環境教育のみにとらわれず、学校の教育活動全体におけるESDの在り方を、環境省中部環境パートナーシップオフィス等と共同研究する。	共同研究 (協力委員、NPO)
	3	児童生徒の情報モラルの指導法に関する調査研究	情報モラルの向上について児童生徒、保護者をはじめ、広く県民に対しての啓発活動を通じて、家庭・地域・学校の協働による総合的な情報モラル向上を図り、児童生徒の安全を図る。	共同研究 (協力委員)
	4	発達の段階に応じたキャリア教育の在り方に関する研究	新学習指導要領にも位置付けられ、児童生徒の発達の段階に応じたキャリア形成の視点からの組織的・系統的な教育の普及を図る。	共同研究 (協力委員)
	5	指導改善研修の在り方に関する研究	指導が不適切な教員のための効果的な研修プログラム等について研究する。	所内研究
	6	実践的な指導力の向上を図るこれからの教職員研修の在り方	ライフステージに応じた教職員研修の在り方を研究することで、実践的な指導力の向上を図る。なお、このテーマは全国教育研究所連盟第20期共同研究のテーマであり、東海北陸ブロックの教育センターで共同研究することになっている。	所内研究
	7	不登校・不登校傾向の児童生徒に対する教育支援の在り方に関する研究	発達障害あるいは発達障害が考えられる児童生徒が不登校に陥らないための予防的な支援策及び不登校状態からのリカバリーに効果的な支援策について、先行研究等から学びつつ、該当児童生徒の在籍校の協力を得て、聞き取り調査や質問紙による調査を行って事例を集めて分析し、先行研究の有効性を明らかにしたり、先行研究にない支援の具体策を提示したりする。	共同研究 (協力委員)
	8	特別支援学校(知的障害)における自立活動の充実(授業改善・評価の在り方等)に関する研究	特別支援学校(知的障害)の自立活動の授業において、学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善が重要な課題となっている。そこで、ICF(国際生活機能分類)の理念を踏まえた指導計画の作成と授業実践を通して、特別支援学校(知的障害)における自立活動の在り方について研究し、成果をまとめる。	共同研究 (協力委員)
教科等の指導の充実	9	高等学校新入学生徒の学力に関する研究(国語)(数学)(英語)	全県的な規模で高等学校新入学生徒の学力の実態把握及び教科指導の在り方について研究する。	共同研究 (協力委員)
	10	教科指導の充実に関する研究(国語)(地歴・公民・社会)(数学)(理科)(理科CST)(英語)(技術・家庭)(情報)	高等学校の教科指導の現状把握と指導上の課題等について調査研究するとともに、小中高等学校の児童生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等についても研究する。	共同研究 (協力委員)
	11	産業教育の充実に関する研究(農業・水産)(工業・商業)(家庭・看護・福祉)	産業教育に関して、生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について調査研究する。また、産業教育の活性化に向けた方策等について協議し、学校における産業教育の充実を図る。	共同研究 (協力委員)
	12	情報教育の充実に関する研究(インターネットの教育利用に関する調査研究:参加・交流、校内LAN)	参加・交流学习に関する調査研究、及び校内ネットワークの有効活用や運営に関する調査研究を進め、愛知エースネット等を通して発信し、教育活動全般における情報化の推進に資する。	共同研究 (協力委員)
		(ICT授業活用に関する研究)	ICT機器を活用して授業の充実を図るための研究を行い、研究成果を研修講座等で提示することにより、各学校にICT活用を広める。	共同研究 (協力委員)
13	特別支援教育の充実に関する研究	特別支援教育に関する部門の実践に役立つ教育情報を収集・作成する。	所内研究	

## 2 教育関係職員研修事業

幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校における教育実践上の諸問題を解決するため、次の事項に留意して研修を行った。

(1)教育実践に役立つ研修

(2)参加者が意欲的に取り組むことができる研修

平成24年度に実施した研修は、次のとおりである。

### ア 研修区分・対象校種別講座（コース）数

対 研 修 区 分	校 種 別	幼	小	中	高	特	小 特	中 特	高 特	小 中	幼 小 中	小 中 高	中 高 特	幼 小 中 高	幼 小 中 高	小 中 高 特	幼 小 中 高 特	小 中 高 特 他	合 計
		保																	
基本 研修	新規採用 教員研修	1	1	1	1	1			1							2			8
	教職経験者 研修	1	2	2	3	3										2			13
職務 研修		1		1	2	2			7	5			1						19
課題 研修		1	1						2		1					2	1		8
専門 研修		1	2	2	7	1	3	1	6	2			2	1		1	5	22	56
長期 研修					2	1				1						2		1	10
合 計		5	6	6	15	8	3	1	16	8	1		6	1		1	13	23	114

### イ 研修受講者数

(単位：人)

区 分		幼	小	中	高	特	その他	合 計
研修 人員	教員等	441	2,162	1,272	2,203	720	56	6,854
	学校事務 職員等		285		77		0	362
	計	441	3,719		3,000		56	7,216
研修 延人員	教員等	1,326	8,286	5,079	7,279	2,475	128	24,573
	学校事務 職員等		822		78		0	900
	計	1,326	14,187		9,832		128	25,473

(注1) 教員等研修のうち長期研修・派遣研修・eラーニング単独研修を除く。

(注2) 「その他」は、保育所長、保育士等。

## 3 教育相談事業

(1)一般教育相談

ア 対象

児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

身体・精神、学業、不登校、いじめ、非行、進路・適性、家庭教育、体罰、暴力行為等

ウ 日時

月～金曜日 午前9時～午後5時

平成 24 年度の相談実施状況は、次のとおりである。

内容別	対 象 別					電 話 相 談 ( 回 )				
	小学生	中学生	高校生	その他	合 計	小学生	中学生	高校生	その他	合 計
身体・精神	97	47	242	0	386	38	14	66	2	120
学 業	81	8	26	0	115	10	24	18	0	52
不 登 校	156	336	482	10	984	59	122	258	1	440
い じ め	1	0	3	0	4	18	19	8	1	46
い じ め 関 連	(25)	(0)	(7)	(0)	(32)	(23)	(27)	(10)	(1)	(61)
非 行 等	0	2	53	9	64	2	9	36	2	49
性 格 等	4	8	17	0	29	4	13	21	0	38
進 路 ・ 適 性	0	36	74	68	178	1	31	53	26	111
家 庭 教 育	91	60	99	1	251	42	86	98	5	231
そ の 他	19	1	11	0	31	103	77	61	57	298
合 計	449	498	1,007	88	2,042	277	395	619	94	1,385

いじめ関連は他の区分に入る相談でのいじめに関連するものであり、合計の内数として示す。

(2) 特別支援教育相談

保護者及び教育関係職員並びに関係機関からの要請に応じ、障害のある幼児児童生徒等に対する教育相談を実施し、障害児の発達の援助を行っている。

ア 相談の対象

障害のある幼児児童生徒または、落ち着きがなく授業に集中できないなど学校生活で困っている幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 相談の内容

- (ア) 家庭におけるしつけや養育について
- (イ) 幼稚園・学校等における指導について
- (ウ) 就学について

平成 24 年度相談実施状況は、次のとおりである。 ( 単位 : 人 )

内容別	対 象 別				小 計	保 護 者	教 職 員 等	合 計
	就学前	小学生	中学生	高校生				
家庭養育に関する事	28	65	2	0	95	147	4	246
就学相談に関する事	114	0	0	0	114	211	3	328
訓練・指導法に関する事	10	249	65	13	337	615	19	971
障害の程度に関する事	1	33	9	1	44	103	4	151
進路に関する事	0	16	7	9	32	50	0	82
その他に関する事	4	16	6	1	27	45	1	73
合 計	157	379	89	24	649	1,171	31	1,851

対象幼児児童生徒の障害別内訳 ( 単位 : ケース )

視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	言語障害	自閉症	その他	合 計
0	3	71	17	0	20	621	243	975

(3) 教育関係職員相談

県内の教育関係職員の身上・生活上の様々な問題について、専門医・相談員が相談に応じ、その解決のために援助を行い、福祉を増進しようとするものである。職務上の悩み、家族や生活上の問題、メンタルヘルスに関する問題など、平成 24 年度中に合計 156 回の相談があった。

#### 4 教育情報収集・提供事業

##### (1)教育情報処理

教育情報の収集・処理・提供を通じて、教育活動や教育研究の質的向上を図るとともに、教育関係者のコンピュータ利用に対する関心と理解を深めるため、アンケートの集計処理、生徒指導データ処理、統計分析処理等の処理サービスを行っている。

##### (2)図書資料

教育関係の専門図書、研究紀要、研究報告書、教科書、教育関係雑誌を収集・整理して、閲覧に供し、図書の貸出しを行っている。

研究紀要、研究報告書等については、コンピュータによる文献検索サービスを行い、教育関係者の利用に供している。

##### ア 保有数

(25.3.31 現在)

教育関係図書	研究紀要・研究報告書	教科書	雑誌	新聞
46,864 冊	64,474 冊	23,414 冊	26 種	4 種

##### イ 平成 24 年度利用状況

開館日数	入館者数	利用図書冊数
245 日	1,024 人	5,527 冊

##### (3)愛知県教育情報システム (AIES)

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

##### ア 主なデータベース

データベースの分野	主 な 内 容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報
国立教育政策研究所関係情報	全国の教育センター等刊行論文、実践的教育研究主題、博士・修士論文題目、全国の教育センター等における教職員研修講座の情報

##### イ 利用方法

総合教育センターのホームページ (URL: <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>) 及び愛知エースネットのホームページ (URL: <http://www.aichi-c.ed.jp/>) から利用できる。

##### (4)愛知県教育情報通信ネットワーク (愛知エースネット)

県内の教育関係機関がインターネットへ接続するための拠点となるとともに、接続する学校間で情報交換ができるサービスを提供する。また、愛知エースネットを経由することで、有害情報へのアクセスを制限する。

##### ア 主なサービス内容

- (ア)公開用ホームページと内部用ホームページの開設
- (イ)電子メールの利用
- (ウ)愛知県教育情報システム (AIES) データの提供
- (エ)コンテンツの提供
- (オ)eラーニングの利用

##### イ 利用校等

(25.3.31 現在)

校種等	接 続 数	備 考
小 学 校	38 校	・FTTH 等 27 校 ・ADSL 等 5 校 ・ISDN 等 6 校
中 学 校	17 校	・FTTH 等 12 校 ・ADSL 等 2 校 ・ISDN 等 3 校
県立学校	174 校	・FTTH 等 144 校 ・ADSL 等 30 校
そ の 他	4 機関	・FTTH 等 1 機関 ・ADSL 等 2 機関 ・ISDN 等 1 機関
合 計	233 機関	・FTTH 等 184 機関 ・ADSL 等 39 機関 ・ISDN 等 10 機関

5 平成 24 年度普及事業の概要

(1) 研究発表会

第 52 回愛知県総合教育センター研究発表会（平成 24 年 11 月 30 日）

ア 大会テーマ 力のある教師をどう育てるか

・基調講演 力のある教師をどう育てるか

講 師 神奈川大学特別招聘教授 中央教育審議会委員 安彦忠彦 氏

・パネルディスカッション

パネリスト 安彦忠彦 氏 神奈川大学特別招聘教授

柴田好章 氏 名古屋大学准教授

村 良弘 氏 江南市立古知野南小学校長

杉浦慶一郎 総合教育センター所長

司 会 小塩卓哉 総合教育センター研究部長

イ 研究発表（6 部会）

部会番号	主 題
1	生きる力を育む ESD 実践カリキュラムの開発に関する研究
2	発達の段階に応じたキャリア教育の在り方に関する研究
3	高等学校情報科の教科指導の充実に関する研究
4	高等学校国語科における指導の充実に関する研究
5	コミュニケーション能力を育成する外国語科指導の在り方に関する研究
6	実践的指導力の向上を図る教職員研修の在り方に関する研究

(2) 主な刊行物

ア CD-ROM による研究刊行物

研究紀要 第 102 集

イ 研究紀要別冊

「平成 24 年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

(3) 要請訪問

県内の教育活動推進のため、研究相談に応じたり、要請により職員を派遣し、指導助言にあたる。（上欄は件数、下欄は対象人数）

内容 対象	生徒 指導	教科 指導	進路 指導	家庭 教育	特別支 援教育	教材 制作	教育 相談	道徳 教育	審査 発表	情報 処理	その他	合 計
幼 児					11							11
					48							48
児 童 生 徒		14			8			1		5	1	29
		3,960			38			884		1,642	700	7,224
教 員	2	74	2		90		2	1	12	8	16	207
	75	2,170	45		2,532		90	25	300	288	1,100	6,625
P T A	1									1		2
	120									120		240
一 般 (高 齢 者)												
一 般 (サークル)					2							2
					65							65
そ の 他					7		4					11
					318		258					576
合 計	3	88	2		118		6	2	12	14	17	262
	195	6,130	45		3,001		348	909	300	2,050	1,800	14,778

（各部の総計）

6 平成 24 年度生徒実習の概要

農業教育（農業教育共同実習所）

(1) 生徒実習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 2 年生）

ア 参加生徒

( ) は女子数（内数）

区分	農園系学科	農土林系学科	生活食科系学科	総合学科	計
参加学級数	17	7	8	2	34
参加生徒数	650 (340)	247 (62)	299 (239)	68 (38)	1,264 (679)
宿泊延べ生徒数	1,943 (1,016)	736 (186)	595 (477)	136 (76)	3,410 (1,755)
日程	3泊4日	3泊4日	2泊3日	2泊3日	
参加学科・系列数内訳	農業(3) 園芸(3) 農業園芸(2) 施設園芸(1) 生物工学(2) 動物科学(2) 生物生産(2) 園芸科学(2)	農業土木(1) 林業(1) 林産工芸(1) 森林環境(1) 環境デザイン(3)	生活科学(4) 食品科学(3) 人と自然(1)	アグリサイエンス(1) 環境デザイン(1)	

イ 実習内容

(ア) エンジン分解・組立実習

学科系	コース	実習内容	実施学科・系列数	
			農園系	農土林系
農園系・農土林系	A	2 機種のエンジン分解・組立 4 サイクルガソリンエンジン 2 サイクルガソリンエンジン	2	0
	B	2 機種のエンジン分解・組立 男子：4 サイクルディーゼルエンジン及び 4 サイクルガソリンエンジン 女子：4 サイクルガソリンエンジン及び 2 サイクルガソリンエンジン	15	7
生活食科系		4 サイクルガソリンエンジンの分解・組立	8	
総合学科		アグリサイエンス系列：4 サイクルガソリンの分解・組立 環境デザイン系列：4 サイクルエンジン(ディーゼル又はガソリン)の分解・組立	2	

(イ) 運転実習

学科	実習内容	実施学科・系列数
農園系	トラクタ基本運転 3 コース・総合運転と下記の応用運転	
	トラクタ応用運転（けん引・ホイールダ）	2
	トラクタ応用運転（ロータリ耕うん・トラクショベル）	1
	トラクタ応用運転（ロータリ耕うん・フォークリフト）	1
	トラクタ応用運転（ホイールダ・ロータリ耕うん）	2
	トラクタ応用運転（ホイールダ・トラクショベル）	5
	トラクタ応用運転（ホイールダ・フォークリフト）	6
農土林系	トラクタ基本運転 1 コースと下記の施工機械運転	
	フルトザ・ホイールダ・トラクショベル	3
	ホイールダ・トラクショベル・フォークリフト	4
生活食科系	トラクタ基本運転 3 コース	8
総合学科	アグリサイエンス系列はトラクタ基本運転 3 コース	1
	環境デザイン系列はトラクタ基本運転と施工機械運転（フルトザ、トラクショベル、ホイールダ）	1

(2) 資格取得講習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 3 年生）

( ) は女子数（内数）

講習名	日程	参加人数
小型車両系建設機械（3t 未満）運転業務講習	2 日間（4 回）	50（14）
フォークリフト（1t 未満）運転業務講習	2 日間（6 回）	23（7）
農業機械技術講習	1 日間（2 回）	20（6）
大型特殊自動車運転技能講習	3 日間（2 回）（自由練習 6 日）	4（0）
計		97（27）